



東京湾再生官民連携フォーラム 平成 28 年度 第 2 回企画運営委員会

1. 開催日時 平成 28 年 7 月 21 日 (木) 16 : 00 ~ 18 : 00
2. 開催場所 スタндарт会議室 虎ノ門 虎ノ門 SQUARE 店
所在地 : 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-15-10 名和ビル 4 階

3. 議事次第

《審議事項》

- (1) フォーラム法人化検討委員会について
- (2) パブリックアクセス P T 政策提案について
- (3) 港湾業界新聞へのフォーラム活動の連載について
- (4) 平成 28 年度フォーラム総会議事次第 (案) について

《報告事項》

- (1) 平成 28 年度 P T 活動報告
- (2) CSR - N P O 未来交流会 (マッチング交流会) について
- (3) その他

4. 出席者

來生委員長、佐々木委員、中村委員、岡田委員、井下委員、笛木委員、牧野委員、田久保委員、竹口委員、田中代理、石澤委員、井上委員、佐々木 (宏) 委員、根木委員、小野 (正)、川村代理、高橋代理、小池代理、小山代理、細川 (事務局)

5. 議事メモ

5 - 1 開会

■事務局確認事項

- ・配布資料の確認
- ・出欠確認
- ・新委員紹介 : 牧野委員、石澤委員、小野委員 (敬称略、順不同)

(1) 開会挨拶 (委員長)

平成 28 年度第 2 回委員会を開催します。開催に先立ち、委員長として江戸前 P T 長の指名を行います。牧野様よろしくお願ひいたします。早速、議事に入ります。

5 - 2 議事

《審議事項》

(1) フォーラム法人化検討委員会 (案) について

【決定事項】

フォーラム法人化検討委員会 (案) 提案の通り承認された。

(事務局説明)

- ・案の作成にあたり、すべての検討委員の調整が終わっていない。メンバー案は、



調整中で内諾をいただいているが、現在案として提案している。

【審議経過】

- ・特に質問、意見はなし。提案に沿って進めることで了承された。

(2) パブリックアクセスPT政策提案について

【決定事項】

政策提案は、引き続き継続審議。

(提案説明：パブリックアクセス竹口PT長)

資料 2-1 政策提案説明。

- ・政策提案自体は、資料 2-1 を中心にまとめる予定で、補足、具体化として資料 2-2 がある。
- ・人々が気軽にアクセスできる既存のアクセスを広く紹介することと、現状ではアクセスが困難な地域のアクセスの拡充方策という 2 点について検討した。
- ・パブリックアクセスの定義を行い、海への関心を高めることを狙いとし、ルート上には、海に関連する社会資源（歴史的背景）を利活用し、海への関心を誘うことにある。その際には、海に関する情報が必要となる。着目したのは、海への関心を高めるための海に関連する情報を充実させる必要があること。人々が海に関心を持ってもらうことが大事と結論づけた。
- ・提供する情報は、海への関心を引き付ける、あるいは、海との関連性の情報を提示する必要がある。海と人々の暮らし、東京湾再生への取り組みなどを紹介する。

資料 2-2 附属資料の説明

- ・視点場への具体的ルート例を提示している。ポイント（海に関する社会資源）を通るルートを説明し、情報の提供方法は、音声ガイドシステムの活用を提案する。ルートごとの設置管理運営主体は、その区域を管轄する自治体に協力をもとめたい。
- ・アクセスの困難な地域に関してアクセス拡充議論を行っていく。より具体化してまとめていきたい。また海上からのアクセスも継続的に検討していきたい。具体的には沿岸自治体の方々と 8 月に別途勉強会を開催したい、また企画運営委員の皆様からもご意見、ご提案をお願いしたいので、事務局への調整協力をお願いしたい。

【審議経過】

- ・モデルルートに関係する自治体が整理して、提案はそれを前提としておこなっていくという理解でよろしいか。
- 既存の海浜公園などを素材にして、市民の興味喚起ができるルートを複数設定し、それぞれの自治体で優先順位をつけて取り組む提案である。
- ・具体例はあくまでモデル例で、それぞれの自治体で自らの判断でルートを設定して情報提供する政策提案と理解した。
- ・「はじめに」の箇所と 2 ページ目の (2) について、「現状ではアクセス困難な地域について、アクセスの拡充方策を検討」することに継続して取り組むという



書き方となっているが、この部分は提案には含まれていないと理解してよろしいか。

- ご指摘のとおりである。(2)を実施するには検討に時間がかかるので、先に既存を有効活用することに重点を置いたほうが良いという結論である。
- ・今回の政策提案は、「はじめに」の前半部分が主眼と理解する。だとしたらそこが明確になる書き方がよい。
- ・言葉の使い方で「社会資源」、「即地的」などは聞きなれない言葉なので、注釈や説明または言い換えたほうがわかりやすい。
- 言葉の意味、表現のしかたは検討する。
- ・委員の指摘もあり、全体に活動報告的叙述なので端的に提案がわかる叙述にしたほうが良い。社会資源は、歴史的な意味合いを含んでいると理解できるが、わかりやすい言葉で表現したほうがよい。
- ・情報提供の音声ガイドシステムは、「ナビタイム」(WEB サイト)みたいなことか。
- (資料 2-2 p 14 で説明。) 具体的には観光音声ガイドサービスなどは、茅ヶ崎の観光センターなどで導入されている。PTでは Sky Desk Media Switch を推奨したい。
- ・地域で情報提供を例えばHPなどで行っている自治体はあるか。
- 東京都の場合、区の観光協会などは、〇〇の道など自分の区の中で、あるいは海の近くで、わかりやすい道路の名前を付けて案内をパンフレットなどで実施している事例はある。
- 課題意識が異なり、海に対する関心をとという一点から見ると合目的な情報提供にできないかなと思っている。既存の情報と仮にバッティングするようならばまた打ち合わせの中で相談したい。
- ・実際ガイドシステムなどを自治体と一緒に作っていく場合、経費的な点は、避けて通れない。今回のガイドシステムは、行政側は情報を作ってそれを渡せばよいのか、何か載せるのに料金が取られるのか。
- 資料の 2-2 p 14①～③の記述例により説明。説明例示により自治体がふさわしいシステムを選択するよう提示している。
- ・自治体と意見を詰めたいということだが、自治体として受け取りやすい提案を意見交換の中で作りあげていくことができれば良いと考える。音声ガイドシステムでも議論があったように、自治体の都合の中で選択余地を残し、表現も少し緩いやり方でブラシュアップしていくことを提案する。作成にあたり事務局もPTに協力していきたい。
- PTには自治体の方が参加されていないこともあるが、行財政関係も厳しいのは理解している。自治体が動きやすい提案が見えてくれば、それに合わせた書き方ができると思う。
- ・2020年のオリンピックもあり、タイミングが良い提案である。今日の段階での審議はここまでにする。
- ・今回は、政策提案の手順資料を準備していなかったが、政策提案の手順は、



企画運営委員会で審議→意見反映・提案修正→会員への意見照会→9月の企画運営委員会で審議・検討議論→修正→10月総会・審議承認→東京湾再生推進会議幹事長 石澤参事官へ提出となる。

(3) 港湾業界新聞へのフォーラム活動の連載について

(事務局説明)

- ・港湾空港タイムス紙へフォーラムに関する記事の連載の提案があった。月1・2回での連載である。非常にありがたい話なのでお受けしたい。案は1回目は事務局で、7月末を目途に、第2回目東京湾大感謝祭PT、第3回目東京湾での海水浴復活の方策検討PTの順に執筆をお願いしたい。それ以降は執筆(案)のとおりである。

【決定事項】

提案通り承認された

【審議経過】

- ・フォーラムとして如何に情報発信をするかということは課題の一つでもあり、特に反対することはないと思う。
- ・この企画は港湾局から港湾空港タイムス社へ提案して頂いたものであり、感謝申し上げる。

(4) 平成 28 年度フォーラム総会議事次第 (案) について

(事務局説明)

- ・資料は、10月に開催する総会の議事次第(案)の方向性をしめしたものである。正式な議題設定は、次回の企画運営委員会で確定していきたい。

【決定事項】

提案通り承認された

【審議経過】

特になし

≪報告事項≫

(1) 平成 28 年度 P T 活動報告

各 P T 長からの活動報告。

◆東京湾大感謝祭 P T 活動

【報告】(田久保委員)

- ・実行委員会では、委員の参加が減り中だるみである。8月にはメンバー変更を実施する予定。実行委員長としては危機感がある。資金に関しても集まりが悪い状況。
- ・今年の感謝祭では、環境省が共催に入り、新企画では、タレントフィッシングカ



ップが同時に開催される。(フィッシングカップの実行委員会は別途ある。) トークショーの開催に環境省が参加して実施される予定。

- ・一斉汽笛も今年実施予定。ふるさと納税は、象の鼻パークで開催予定であり、すでに 50 の自治体が参加をする予定となっている。

課題はあるが、皆さまの協力を是非お願いしたい。現状の出展小間数は 32 で、これから強力に営業を進めていく。

◆東京湾環境モニタリング P T 活動

【報告】(代理 事務局報告)

- ・東京湾再生推進会議のモニタリング分科会を応援していく P T。今年も 8 月 3 日の一斉調査に向けて準備活動を行っている。一斉調査の案内の中には、東京湾再生官民連携フォーラムも含まれている。
- ・一斉調査には様々な企業・組織が協力して頂いているが、参加機関一覧などを参考としていただければと思う。また、生物調査一覧でも、企業や N P O の協力の方々が記載されているので、参考にいただければと思う。

◆生き物生息場づくり P T 活動

【報告】(佐々木 P T 長)

- ・昨年度、政策提案を行い、今年 3 月より第 2 期として活動を開始。7 月 1 日、第 2 期第 2 回の P T 会議を行った。しばらくの間は、次の提案に向けた材料を探す勉強会を実施していく。専門の方に話題提供をいただいた。
- ・次回、9 月 1 日第 3 回目の P T を予定している。土砂材料に関する最新の知見を得るよう、産総研 鈴木様のグループに話題提供をお願いしている。今後 2 か月に 1 回ぐらいの割合で勉強会を進めながら、必要に応じて幹事会を作り進めていく。メンバーの中には、見学会の実施の意見もあり、検討している。
- ・気になる点は、水産分野、民間分野は熱心に議論されているが、港湾のプレゼンスが下がっている印象を受ける。人事異動などもあり、情報が上手く伝わっていないことなどがあるが、もともと港湾局が熱心にはじめたいきさつもあり、是非もう一度、活発なリードを期待したい。委員会の方からも助言いただければと思う。

◆指標活用 P T 活動

【報告】(岡田 P T 長)

- ・現在、市民へのアンケートの取り組みを行っている。調査票は前回の会議で提示した。調査項目は以下のとおり。
 - ①東京湾および東京湾に流入する河川におけるゴミ回収活動
 - ②東京湾における水遊びや環境学習等のイベント
 - ③東京湾の再生に取り組む企業・団体
- ・アンケートへの協力をおねがいしたい。フォーラムの会員、知り合いの方々に、7 月 20 日にメール配信を実施した。アンケートへの協力を是非会議ご出席のみならずよろしくお願いしたい。また、知り合いがあれば調査表への参加、よろしくお願いしたい。



◆東京湾パブリックアクセス方策検討PT活動

【報告】(竹口 PT 長)

- ・今後沿岸域に関する現地調査を実施したいので情報提供をお願いします。また作業にあたり現地調査を行うので、皆さまにご案内する。

◆東京湾での海水浴復活方策検討PT活動

【報告】(田中代理)

- ・ワーキンググループを立ち上げ、5 月 23 日東京都と一緒に城南島海浜公園でのヒアリングを実施したので、これをまとめていく。さらに、大田区ふるさとの浜辺公園、東扇島東公園のヒアリングを予定している。

◆東京湾の窓PT

【報告】(代理 事務局報告)

- ・7 月 13 日に第1回目の会合が行われた。10 人以上のメンバーが集まった。
東京湾には様々な施設、団体がある。せっかく自治体が良い施設(博物館、資料館、地域センター等)を作っているが、もっと活用することが大事という現状認識が議論された。
- ・諸施設は海への出入り口としての窓となる。横の連絡(施設間)をとり、交流を図りたい。これには更なる情報発信が必要。
- ・「今ある施設の情報などを、事務局が作成している“東京湾イベントカレンダー“などと連携を試みる」などの議論が行われた。さらに、東京湾の理解への共通的な教材をつくる、などの検討議論が始まっている。

(2) CSR-NPO未来交流会(マッチング交流会)について

- ・7月14日、東京都千代田区麹町弘済会館において、今年度第1回の交流会を開催した。参加は、27団体、31人であった。
- ・昨年ISO14001 の規格改訂があり、要求事項に新しく「生物多様性及び自然生態系の保全」が謳われた。(経団連 中井様の講演。)新しい要求事項をきっかけに、NPOが企業に耳を傾けてもらえる話や作法などについて講演していただいた。これを受けた形で、二つの事例発表をおこなった。
- ・参加企業を代表して横浜ゴムの方に意見紹介を頂いた。
「企業の中では、トップは理解ができていますが、幹部・上層部を説得するのに、大変労力がある。NPOの方には、上層部を納得できるような提案をいただければ、さらにやり易くなる。」
- ・今回の交流会は、実践的な議論となり、昨年に比べ参加者も増え内容が少しずつ充実している。

(3) その他 (事務局説明)

【企業・行政等施設見学会】

- ・今年も企業・行政等施設見学会を予定している。今回は見学コースに船を利用して、船の手配、開催日は、9月15日を仮押さえしている。8月に参加募集予定



である。

【新聞社説記事】

- ・朝日新聞 7 月 18 日の社説に「海の再生」としてフォーラム組織や東京湾大感謝祭活動が取り上げられた。（フォーラムHPに掲載予定）

【PT長会議】

- ・相互の意見交換のためにPT長会議の開催を8月に予定している。現在、日程調整をしている。

了